

# イタリア・日本共同国際シンポジウムのご案内

人類と医療のためのロボティクス—大阪・関西万博 2025 を見据えて  
駐日イタリア大使・イタリア総領事来学

## 【本件のポイント】

- ヘルスケア分野におけるロボット工学に関する最新知見を提供
- 高齢社会が抱えるニーズへのソリューションに貢献
- 大阪万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」にも寄与
- イタリアと日本の国際学術協力を推進

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・木梨達雄）と在大阪イタリア領事館（在大阪イタリア総領事・Marco PRENCIPE）は、2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博2025」）を見据え、トリノ工科大学との連携のもと、人類と医療のためのロボティクスをテーマとした、ロボット工学に関するイタリア・日本共同国際シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムは、ヘルスケアの分野におけるロボット工学の広がりとその多大な可能性について日伊の知見と最新の研究を共有する機会を提供するものです。革新的なロボット技術をヘルスケアサービスの提供に取り入れることにより、ヘルスケアシステムのパフォーマンスを著しく向上させ、特に高齢社会が抱える課題に直面するイタリアや日本のような国々における高齢者のニーズに応えることが可能となるでしょう。同時に、サービスロボティクスは、モビリティ、オートメーション、テストのためのソリューションを提供することができます。本シンポジウムは、大阪・関西万博2025のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」にも寄与するもので、イタリアと日本が今後数十年の間に立ち向かう課題への革新的な解決策を導き出すための共同研究を通し、学術研究上の国際協力を積極的に後押しする機会を提供します。

## 【シンポジウム概要】

日 時：	2024年6月21日（金） 9:30~18:00
場 所：	関西医科大学枚方キャンパス（大阪府枚方市新町2-5-1） 関医タワー/医学部棟1階 加多乃講堂
9:30~11:30 関医タワー	モーニングセッション 「ロボティクスおよび医療関係企業によるプレゼンテーション」 “Presentations from companies on robotics and healthcare”

## 【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇、清水）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

13:00~13:20 加多乃講堂	<p><b>歓迎挨拶</b> 関西医科大学名誉学長・国際化推進センターセンター長 友田 幸一</p> <p><b>開会挨拶</b> H.E. Gianluigi BENEDETTI(駐日イタリア大使 Ambassador of Italy to Japan) Stefano Paolo CORGNATI(トリノ工科大学学長 Rector, Politecnico di Torino) (ビデオメッセージ) 木梨 達雄(関西医科大学学長) Alberto SAPORA(トリノ工科大学副学長 Vice Rector, Politecnico di Torino) 司会：Giuseppe PEZZOTTI(関西医科大学客員教授)</p>
13:20~15:20 加多乃講堂	<p><b>基調講演</b> ■モデレーター 小森 雅晴(京都大学教授) 長谷 公隆(関西医科大学教授)</p> <p>Giuseppe QUAGLIA(トリノ工科大学教授 Professor, Politecnico di Torino) 「サービスロボット：医療、リハビリテーション、障がい分野における世界的な トレンドとプロトタイプ」 “Service Robots: global trends and prototypes for health care, rehabilitation, disability” Marco CECCARELLI (Professor, University of Roma Tor Vergata) 「高齢者向け医療機器における経験と課題」 “Experiences and challenges in medical devices for elderly people” 竹村 研治郎(慶應義塾大学教授) 「細胞工学、組織工学に貢献する超音波アクチュエーション」 “Ultrasonic Actuation Enhances Cell/Tissue Engineering” 野田 智之(株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 主幹 研究員) 「個別性に適応したニューロリハビリテーションを実現する AI 駆動の外骨格ロ ボットの開発」 “Enhancing Tailor-made Neurorehabilitation with Compliant AI-driven Exoskeletons”</p> <p><b>閉会挨拶</b> Marco PRENCIPE(在大阪イタリア総領事 Consul General of Italy in Osaka)</p>

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室(佐脇、清水)

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

PRESS RELEASE



<p>16:00~16:55 加多乃講堂</p>	<p>シンポジウム① 「ヘルスケア、リハビリテーション、障がい、高齢社会のためのロボット技術」 “New robotic technologies for healthcare, rehabilitation, disability and aging society” ■モデレーター Marco CECCARELLI (Professor, University of Roma Tor Vergata) 大畑 光司 (北陸大学教授)  大畑 光司 (北陸大学教授) 長谷 公隆 (関西医科大学教授) 山口 智史 (京都大学教授) 中山 淳 (関西医科大学講師) 石崎 優子 (関西医科大学診療教授) 早川 潔 (大阪府立大学工業高等専門学校教授)</p>
<p>17:00~18:00 加多乃講堂</p>	<p>シンポジウム② 「人類と医療分野へのサービスロボティクスの挑戦的応用」 “Challenging applications of service robotics for Humanity and Healthcare” ■モデレーター Stefano PASTORELLI (トリノ工科大学教授 Professor, Politecnico di Torino) 松浦 大輔 (東京工業大学特任准教授)  Stefano PASTORELLI (トリノ工科大学教授 Professor, Politecnico di Torino) 小森 雅晴 (京都大学教授) 松浦 大輔 (東京工業大学特任准教授) 山本 晃生 (東京大学教授) Luigi TAGLIAVINI (PhD, トリノ工科大学博士研究員 Politecnico di Torino)</p>

※本シンポジウムでは、コニカミノルタ株式会社が開発中の自動翻訳ソフトを用いて同時通訳アシストを行います。さまざまな「みえる化」に取り組んできたコニカミノルタのDX技術でグローバルの垣根を超えた国際協力を支援します。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室 (佐脇、清水)

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

リリース先：大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、  
科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ

2024年6月19日

No.00229

PRESS RELEASE



【イタリア・日本共同国際シンポジウム 参加申込書】

学校法人関西医科大学 広報戦略室 行

FAX 番号：072-804-2638

メールアドレス：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

ご出席に際しては必要事項をご記入の上、上記 FAX 番号宛もしくはメールアドレスに

**2024年6月20日（木）15時までにご返信ください。**

貴社名：

御所属：

御芳名：

媒体名：

電話：

FAX：

Email：

@

※会場に駐車場のご用意はございません。恐れ入りますが取材車両は近隣の民間駐車場をご利用ください。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇、清水）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp